

平城遷都 1300 年記念事業奈良市市民連携企画会議  
委員長 村田 武一郎

### 平城遷都 1300 年記念事業奈良市市民連携企画会議から市長への報告について

平城遷都 1300 年祭において、市民と連携した本市独自の取り組みを実施するため、平成 19 年 10 月に平城遷都 1300 年記念事業奈良市市民連携企画会議が設置されました。

この間、将来のまちづくりに継承され、発展していく活動につながり、市民が参画できる企画について検討を重ねました。その結果について、平成 20 年 10 月 7 日に市長へ報告をいたしましたので、その概要をお知らせします。

#### (1) 宿泊型講座（仮称）なら旅塾

- ・奈良市に宿泊しながら、奈良についてより深く学び、体験をしていただくために、奈良の素材を活かした知的プログラムを用意し、奈良への来訪につながる参加型講座を実施する。
- ・実行組織や旅行業者が連携して企画運営を行い、首都圏からの集客を図る。

#### (2) (仮称) naramono café

- ・宮跡庭園で、「ならもの」を使い、いにしへの「なら」と現代の「nara」をコラボレートさせた空間を創り、カフェと音楽ライブを実施する。
- ・プロデューサーを起用した実行委員会・マスコミ・メディアとの連携を図り、奈良の新しい魅力を発信する。

#### (3) クイズラリー（仮称）「1300年の歴史を巡る、奈良界限」

- ・子どもを対象にし、奈良市内の名所・旧跡等を訪れることによって解答できるクイズラリーを実施する。
- ・市民参加による実行委員会・民間企業が連携して1年間を通して実施する。

#### (4) 国内外の友好・姉妹都市との交流事業

- ・文化交流・物産展・国際バザール・子ども達の交流・食の交流などを通して、歴史や文化の市民レベルの交流を図り、友好を深める。
- ・文化、商工、観光団体や関連する団体等が市民とともに実施する。

#### (5) 1300年祭市民連携企画補助事業

- ・市民が企画立案し、主体的に実現できる事業を広く募り、市民活力の向上を図る。
- ・市は、一定の補助を行う。

#### その他

- ・本企画会議で出された企画について、平城遷都1300年記念事業協会に取り組んでいただくのがふさわしいと思われる事業については、別途1300年記念事業協会に提案をしました。
- ・平城宮跡地区及びその周辺の環境整備の促進について、奈良市および奈良市から関係機関へ働きかけていただくよう別途提案をしました。

事務局  
担当 企画政策課 榊崎  
TEL 0742-34-4786

## はじめに

2010年、奈良の都「平城京」の誕生から1300年という記念すべき年を迎えるにあたり、日本の歴史・文化が連綿と続いたことを「祝い、感謝する」とともに、「日本のはじまり奈良」を素材に、平城遷都1300年祭が行われます。

奈良市が、この平城遷都1300年祭に参画するとともに、これを市民全体の事業とし、また将来のまちづくりに継承され発展していく活動につなぐために、平城遷都1300年記念事業奈良市市民連携企画会議において、市民が参画できる企画を検討してまいりました。

この企画のテーマを「1300年の歴史に学び、1300年先の未来へ」とし、1300年の奈良の歴史・世界の歴史を改めて学び、世界に奈良を伝えていくことを基本理念とし、市民がどのような形で参画できるかを多方面にわたる委員の皆様のご意見をいただきながらまとめあげました。

平城遷都1300年祭を弾みに、本企画が奈良の魅力を再発見し、奈良市を全国に、世界に発信する一役を担うことができ、未来に向けて奈良市の貴重な財産となることを願っています。

平成20年10月7日

平城遷都1300年記念事業奈良市市民連携企画会議  
委員長 村田 武一郎

# 宿泊型講座（仮称）なら旅塾 企画書

## 1. 趣旨

1300年の昔から、日本の歴史や文化を形づくってきた舞台である奈良について、より深く学び、体験していただくことによりその魅力を伝えていく。

## 2. 対象

奈良についての知識があり、より深い学習や体験を望む首都圏在住者を含む県外在住者。

## 3. 内容

滞在しながら、集中的に「奈良」の歴史・文学・芸術など、協力いただける各大学や社寺仏閣・遺跡の特色を活かした幅広い学習及び体系的な学習・体験プログラム（フィールドワーク）を展開。

- ①奈良市内にある大学のうち協力を頂ける大学それぞれの特色を活かした歴史・文学・芸術など、講師陣による学術的な講義
- ②現地での、博物館・文化財施設職員による講演、社寺仏閣関係者による講話
- ③平城遷都1300年記念事業協会が実施する広域連携イベント「各社寺現地における秘宝・秘仏等特別公開」との連携を図る。
- ④市民ボランティアによる施設ガイド
- ⑤伝統的行事・民間行事への参加体験
- ⑥民泊も含めて検討
- ⑦奈良の朝
- ⑧奈良の食

などの要素を効果的に組み合わせることにより、総合的かつ機能的連携をはかり、深く奈良の魅力を理解していただくことを目的とし、まとまった知識を得る機会の提供を図る。

## 4. スケジュール

2010年中に2泊3日を1単位として実施。複数回の実施を予定。市内泊

## 5. 実施主体

- ①一体実施方式 → 旅行業者、若しくは総合的実行組織、市観光協会。  
講座、フィールドワーク、宿泊、交通（移動手段）等を総合的に企画運営が可能な団体に実施を任せる。
- ②提携方式 → 市・実行組織が企画。交通・宿泊については旅行業者と提携。  
講座、フィールドワークと宿泊・交通（移動手段）をシェアリングして考える。

企画主催：講義・フィールドワーク → 市、実行組織（大学）＋提携  
旅行主催：宿泊施設、交通機関、食事手配 → 旅行者

## 6. 実施手法

〔候補日〕 伝統行事・参加体験可能な行事等開催日  
2010年12月17日（春日若宮おん祭）を含む2泊3日  
2010年12月16日（東大寺法華堂の秘仏執金剛神立像公開日）を含む2泊3日  
2010年9月中（采女まつり・唐招提寺観月会）を含む2泊3日  
ほかに、8月のなら燈花会、バサラ祭りも候補とする。

〔実施例〕（関係機関、社寺とは未調整）

### 1 テーマ 「世界に誇る文化遺産との対話」（案）

#### （1）東大寺（案）

①大仏建立聖武天皇の熱き思い

再建に挑んだ重源上人

公慶上人の祈り

民衆の勧進の歴史

②場所 「国立博物館講堂」

③講師 大学教授 博物館職員

④日常体験できないフィールド 東大寺  
大仏殿登壇  
公慶上人像見学

#### （2）元興寺（案）

①飛鳥時代の瓦と鎌倉時代の柱に刻まれた文字

②場所 元興寺本堂

③講師 大学教授 僧侶

④フィールド 元興寺

## 7. 今後の課題

- （1）2010年以降も継続して実施していくために、実施主体をどこに置くか。
- （2）企画を効果的に宣伝し、集客に結びつけるための手法・経費を検討する必要がある。（旅行者、会社、新聞社等の利用）
- （3）プログラムの検討（参加者の興味を引き付けるアクティビティな内容と、継続してツアーを組める素材、新スポットの開発）

# (仮称) naramono cafe 企画書

## 1. 趣旨

奈良らしいオリジナル商品を使った癒しの空間

村田珠光が祖とされる茶道や林浄因が作り方を伝えたと言われる饅頭など、奈良にゆかりのあるものから「おもてなしのこころ」を学びながら、いにしへの『なら』と現代の『nara』をコラボレートさせた空間を創り出す。

会場は、全国でも数件と言われる、特別史跡と特別名勝が二重指定されている歴史的価値が非常に高い「宮跡庭園」を予定。1300年前の空間も併せて体感してもらうことによって、更なる奈良の良さをアピールするものとする。

## 2. 対象

奈良市民はもとより、奈良県民や他府県からの観光客などが対象

## 3. 内容

- ・「ならもの」をふんだんに取り入れた癒しのカフェ空間
- ・赤膚焼の燈火器を使った「あかり」で癒される空間
- ・カフェ空間で味わった「癒し」を自宅でも味わうためのならものの物販

## 4. スケジュール

平成21年4月 実行委員会発足

平成22年8月中旬～9月中旬 イベント期間

## 5. 実施主体

実行委員会

## 6. 実施イベント内容

- ・「ならもの」をふんだんに取り入れた癒しのカフェ空間  
宮跡庭園内または庭園内の復元建物を利用し、現代的なカフェのしつらえに「ならもの」のテーブルウェア(赤膚焼のコーヒーカップ、ティーカップ、抹茶碗などや奈良晒のティーマット、高山の茶筌やティースプーンなど)を使った、こころが和む居心地のいい空間を創る。  
和菓子から洋菓子、抹茶から紅茶まで、来場する人にとって、ひとときの休息を味わってもらえるような空間創りを目指す。
- ・赤膚焼の燈火器を使った「あかり」で癒される空間  
宮跡庭園に赤膚焼の燈火器を灯し、秋の夜長をろうそくのあかりに囲まれながら癒されてもらう。  
併せて、ジャズ、アコースティックライブのような癒される音楽を8月中旬から

9月中旬の毎週土曜日の夕方に開催。

週替わりでアーティストを入れ替え、若者から中高年までそれぞれの世代に対応。

イベントの開催方法として、「媒体イベント」という方法が挙げられる。「媒体イベント」とは、「メディア関連企業（＝媒体ととらえる）と提携し、制作や運営をメディア関連企業が行うイベント。

媒体イベントとすることによって、

- ・コストの大幅削減の実現
- ・少ない予算で話題のアーティストのブッキングが可能
- ・奈良市がメディア関連企業のスポンサーとなるので、そのメディア内の番組で奈良市の告知が可能

というメリットが発生する。

具体例としては、FM放送局と提携することによって、より多くの集客を図ることが可能になる。

- ・カフェ空間で味わった「癒し」を自宅でも味わうためのならもの物販  
カフェ空間で奈良らしさを体感してもらったあとに、「癒し」を継続的に味わってもらうための奈良らしいオリジナル商品の販売。

# クイズラリー「1300年の歴史を巡る、奈良界限」 企画書

## 1. 趣旨

奈良は自然や歴史ある文化が魅力である。奈良の自然や文化をより多くの人に知ってもらうために、手軽に参加でき、体感してもらえるイベントが必要である。

そのためには、誰もが楽しみながら奈良の魅力を感じることができるイベント、とりわけ子どもを対象にして、子どもが遊びながら学習できるイベントを企画する。

## 2. 対象

子ども。楽しく奈良を体験できることに主眼を置く。

## 3. 内容

子どもを対象にしたクイズ。

- ・奈良市内にいくつかのエリアを設置し、そのエリア内の名所・旧跡等に関連する内容をクイズとして作成し、現地に出向かなければ正解が分からないものにする。そうすることによって、奈良市内の施設や観光地などに集客できるようにする。
- ・エリアは1年間を通じて固定しておき、利用者に好きな所を選択できるようにする。夏休みや修学旅行の期間は参加者の増加が見込まれる。クイズの内容を3ヵ月ごとに更新し、1つのエリアで最大4回（1月～3月、4月～6月、7月～9月、10月～12月）チャレンジできる。各エリアの問題数は10問程度を予定。

例として次のようなエリアが挙げられる。

- ①平城宮跡エリア（いにしへの都体験コース）  
大極殿、平城宮跡資料館、朱雀門など
- ②奈良公園エリア（ならの歴史体験コース）  
東大寺、興福寺、春日大社など
- ③西の京エリア（世界遺産体験コース）  
薬師寺、唐招提寺など
- ④ならまち界限エリア（ならの町並み体験コース）  
元興寺、ならまち格子の家、奈良町物語館など

対象者が子どもであるため、交通の便等を考慮してエリアの設定を行う。

## 4. スケジュール

2009年度に実行委員会を発足。2010年1月から12月まで実施予定。

## 5. 実施主体 実行委員会

## 6. 実施手法

### (1) 周知について

ホームページとハンドブックによる周知を行う。それぞれに各エリアの名所などを織り交ぜながら、「奈良に行きたい」という気持ちにさせる内容で構成する。

ホームページ作成後は、1300年事業協会等とのリンクを含め、広範囲にわたるPRの展開を図る。

ハンドブックについては、市施設、観光案内所を始め、各鉄道の主要駅やショッピングセンターなどに設置依頼する。

### (2) クイズの内容及び作成について

クイズの素材発掘や内容、コースの検討について、市民の参画を図る。

### (3) クイズの実施について

ホームページやハンドブックにより、エリアマップとクイズの問題を入手する。エリア内の各名所を散策しながら、クイズの解答を行う。

ホームページが閲覧できる人は、解答をホームページ上で入力し、事務局に送信。

ハンドブックを使って参加する人は、ハンドブックに付属のハガキに解答を記入し、事務局に郵送する。

各エリアでシーズン毎に正解者の中から抽選で記念品を渡す。

### (4) ホームページの構築について

クイズラリー単独のホームページを作るのではなく、奈良市が行う1300年記念事業全体のホームページを作成し、その中にクイズラリーのページを設ける。

子ども向けホームページの実績をもつ団体との連携を図る。

## 7. その他

民間企業への協賛依頼（経費負担軽減・記念品確保）



# 国内外の友好・姉妹都市との交流事業 企画書

## 1. 趣旨

1300年前の平城京は、まさに国際都市であった。海外との交流から生まれた文化、技術、芸術が天平文化として華開いた時代であった。また、大仏建立に象徴されるように国内各地から様々な物資や技術者が奈良に集まった時代でもあった。国際文化観光都市である奈良市は、国内外の縁のある都市を中心として、海外の5都市、国内の4都市と友好・姉妹都市提携をしている。

しかし、これらの都市との日常的な交流は、一部の定期的な行事等を除いてあまり行われていないのが現状である。

今回、平城遷都1300年を記念して行う市民連携企画事業において、これらの友好・姉妹都市との市民レベルの交流を行うことは、奈良市の国際的、文化的地位を市民が再確認できる絶好の機会と考える。

## 2. 交流のイメージ

友好・姉妹都市ウィークを設ける。

世界歴史都市会議が10月12日～16日まで開催されることから、これとのバッティングは避けて、11月、あるいは5月に開催することとする。

世界歴史都市会議では、市民が直接諸外国の参加者と交流する機会がないので、友好・姉妹都市ウィークを通じて、交流の機会を設ける。交流は、各種の分野で行い、市民の参加が促進される環境を整える。

## 3. 内容

### 【文化交流】

想定される担当課・・・国際交流課、文化振興課、生涯学習課

その他・・・関連する連携団体

場所・・・100年会館中ホール又は、大極殿前ステージ

1日2部制とし、1部2時間程度とする。

新羅国楽芸術団(慶州)

大道芸(キャンベラ)

キャンベラの吹奏楽団と一条高校、消防音楽隊とのブラスバンド交流

中国舞楽

中国琵琶奏者

能・狂言、雅楽、太鼓、創作ミュージカル良弁杉、大柳生太鼓踊り、もちつき音頭、奈良ばやし・奈良音頭、市民フェスティバルで優勝もしくは優秀となった団体、バサラ踊り隊、(奈良市)

その他、市内には海外からの留学生も滞在しており、音楽、ダンス等を披露できる学生も多いことから、これらの学生も参加してもらってバリエーションを広げる。

### 【物産展】

担当課・・・市商工労政課

その他・・・関連する連携団体

小浜市、郡山市との物産展を毎年実施しているが、2010年には、太宰府市、宇佐市を含めて物産を販売する。

御食の国、淡路島・伊勢にも参加を働きかける。海外の都市の物産販売は、課題が多いため実施しない。

実施時期・・・2010年3月

場所・・・奈良マーチャントシードセンター  
(OKest コミュニティホール)

### 【国際交流バザール】

想定される市の担当課・・・文化振興課、国際交流課

その他・・・参加者及び参加団体による実行組織

広く出店者を公募。市民、及び市内で活動する国際交流サークル・団体や留学生及びその支援団体等の参加を想定

- ・世界各地の特色あるバザールの展開を目指す。  
スペースの許す限りより多くの国の特色ある出店を目指す。
- ・文化交流イベントと同時開催することによる集客力アップへの相乗効果

場所・・・100年会館時の広場

課題 平城宮跡会場交流広場への出店参加も検討

### 【子ども達の交流】

実施主体・・・教育委員会学校教育課

- ・既に実施している絵画習字の作品交流を、友好・姉妹都市ウィークに合わせて実施する。(市美術館)

1300年記念事業の記念としての記念品をつけるなど、例年とは違う印象を与え、友好・姉妹都市から多くの作品を集める。

### 【食の交流】

想定される実施主体・・・生涯学習財団

その他・・・関連する連携団体

「世界の食を作ろう食べよう」

市民を対象に料理教室の生徒を募集し、世界の特色ある料理を作り、みんなでいただく。

- ・募集人数は40人程度 5回程度に分けて実施 人気が高ければ、何回かのシリーズとして実施
- ・学校・公民館等を利用して、各地域でも実施し、市内全域への広がりをめざす。

場所・・・生涯学習センター・学校・公民館

# 1300年祭市民連携企画補助事業 企画書

## 1. 趣旨

奈良市では、2010年に平城遷都1300年を迎えます。

これを機に、市民や観光客に1300年の歴史の中に奈良を感じながら、新たな奈良の魅力を体験してもらうことができ、奈良の集客に繋がるような取組を支援する「1300年祭市民連携企画補助事業」を実施します。

## 2. 募集する事業

下記の要件に加え、より多くの人々が、奈良に興味をいだき、奈良を訪れたいと思うような企画を立案し、継続的に取り組むことができる団体の事業

- ①1300年を迎えた市民の喜び・誇りを表現するもの
- ②1300年の歴史あるいは、「はじまりの奈良」を表現するもの
- ③隠れた伝統・芸能、観光資産の発掘
- ④新しい奈良を表現・発信するもの

## 3. 支援内容概略

### ①補助金の交付

事業の初期経費の総額の2分の1以内の額で、一定額（1回限り）を補助する。  
なお、予算の範囲で減額されることがあります。

### ②事業のPR支援（予定）

1300年関連事業として、平城遷都1300年事業協会と連携を図り、イベントカレンダー等に記載、また、しみんだよりに1300年祭記念事業特集として紹介する。

## 4. 応募の要件

- ①事業の実施期間が平成22年4月1日から12月31日までのもの（予定）
- ②事業の実施主体が営利を目的としない団体であること
- ③事業の実施期間が概ね2日間以上であること
- ④同一の事業を将来的に継続して実施する予定であること
- ⑤公序良俗に反しない事業であること
- ⑥政治または宗教活動を目的としない事業であること

## 5. 募集期間

平成21年4月1日～5月初旬

## 6. 応募方法

奈良市企画政策課で受付

## 7. 選考方法

奈良市及び奈良市1300年市民連携企画会議のメンバーから構成する事業選定委員会が選考します。

「話題性」、「独創性」、「継続・発展性」、「地域連携」、「時期」等の事項で審査を予定

## 8. 問い合わせ 奈良市企画政策課

## おわりに

今後は、奈良市が平城遷都 1300 年記念事業協会との連携をさらに密にし、平城遷都 1300 年祭を実効あるものとして開催できることを願っています。

この企画会議から提案しました企画を含め、平城遷都 1300 年祭に向けて奈良市として取り組まれる事業を広く市民に情報発信することにより、市民の間でその気運を高めることが重要であると考えます。

また事業協会及び近隣市町村との情報を共有化することにより、県内外をはじめ海外の方々にも奈良市の事業を周知することが望まれます。

本企画を実施していくにあたっては、市民や NPO 等との幅広い連携・協働により計画・実施されるとともに、一過性のイベントとしてではなく、今後の奈良市のまちづくりへつながる企画として位置づけていただくことを願います。

## ■ 企画会議開催状況

- 第1回企画会議 平成19年10月9日  
委員委嘱
- 第2回企画会議 平成19年11月27日  
検討事項 各委員から企画案提案
- 第3回企画会議 平成20年1月31日  
検討事項 企画案の体系化について  
テーマ・基本理念・方向性についての分類
- 第4回企画会議 平成20年6月4日  
検討事項 企画会議企画書について  
平城遷都1300年記念事業協会への提案について  
「平城宮跡地区及びその周辺の環境整備について」の提案について
- 平城遷都1300年記念事業協会へ提案 平成20年6月4日  
協会での実施をお願いしたい企画について、協会へ依頼
- 奈良市長へ提案 平成20年6月4日  
「平城宮跡地区及びその周辺の環境整備について」
- 第1回ワーキング会議 平成20年7月30日  
検討事項 企画内容について
- 第2回ワーキング会議 平成20年9月4日  
検討事項 企画内容について
- 第5回企画会議 平成20年10月1日  
報告 平城遷都1300年記念事業協会へ提案した企画について  
「平城宮跡地区及びその周辺の環境整備について」の報告
- 検討事項 個々の企画について
- 奈良市長へ報告 平成20年10月7日  
「平城遷都1300年記念事業奈良市市民連携企画会議 報告」

## ■ 委員名簿

- 委員長 村田 武一郎 (奈良県立大学地域創造学部 教授)
- 副委員長 松岡 泰夫 (奈良商工会議所 副会頭)
- 委員 尼崎 勝己 (前奈良市自治連合会 副会長)
- 同 伊部 和徳 (特定非営利活動法人平城宮跡サポートネットワーク理事長)
- 同 植村 英毅 (奈良商工会議所青年部企画委員会 副委員長)
- 同 大西 治雄 (奈良デザイン協会 会長)
- 同 河村 武 ((社)平城宮跡保存協力会 常任理事)
- 同 桐山 尚子 (市民公募)
- 同 久保 博子 (奈良女子大学生生活環境学部 准教授)

同	栗本 恭子	(なら子育てネットワーク 代表)
同	後藤 舜一	(市民公募)
同	渋谷 真樹	(奈良教育大学教育学部 准教授)
同	清水 博一	((社) 奈良青年会議所 直前理事長)
同	下谷 幸司	(奈良県旅館・ホテル生活衛生同業組合 奈良支部副支部長)
同	仲川 順子	(奈良 NPO センター 理事長)
同	中山 悟	(平城遷都 1300 年記念事業協会 県内・広域事業部長)
同	藤川 光代	(特定非営利活動法人なら・観光ボランティアガイドの会理事)
同	水田 典男	(奈良交通(株) 地域振興部長)
同	溝辺 文昭	(前都跡地区自治連合会 北部会長)
同	森本 弘之	((社) 奈良市観光協会 理事)
同	山岡 一光	((社) 奈良市商店街振興会 理事)
同	横井 紘一	(市民公募)
事務局	奈良市 企画部	企画政策課